

開園 22 周年の感謝を込めてパスポート料金が無料に！

「ナンジャタウン感謝祭 2018」

2018年7月6日(金)

株式会社バンダイナムコアムusement（本社：東京都港区/社長：萩原仁）が運営するテーマパーク「ナンジャタウン」（東京・池袋）は、開園 22 周年を迎える 2018 年 7 月 6 日(金)にお客さまへ日頃の感謝の気持ちを込めてナンジャパスポート料金が無料になる「ナンジャタウン感謝祭 2018」を開催します。



入園、アトラクション利用ともに無料開放するのは 1996 年 7 月の開園以来初の試みとなります。当日は入園が無料となり、園内の 12 アトラクションも無料でご利用いただけるほか、7 月 6 日が誕生日となるナンジャタウンのシンボルキャラクター“ナジャヴ”と“モジャヴ”の誕生日を祝うバースデーパーティーなど盛りだくさんでお楽しみいただけます。さらに、通常土日祝日に開催しているショーコンテンツ「開運！三三七拍子」と「おえかきファッションショー」を当日限定のスペシャルバージョンで開催。感謝祭の最後には「開運！三三七拍子」のテーマ曲「ナンジャラー！ナンジャラー！～キミとなかよくするための魔法～」を歌う SAK.さんがステージに登場し、ショーを盛り上げます。

《開催概要》

- ◆開催日：2018年7月6日(金)
- ◆営業時間：10時～20時(最終入園：19時)
- ※年間パスポートをお持ちのお客さまは 9 時 45 分より優先でご入園いただけます。
- ◆入園、ナンジャパスポート料金：無料
- ※一部を除くパスポート対象外アトラクション、ご飲食、お買い物は別途料金が必要です。
- ◆入園方法：ナンジャタウンエントランスにて受付します。

【詳細は次ページをご覧ください】

©2018 BANDAI NAMCO Amusement Inc.

※ニュースリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

※株式会社ナムコと株式会社バンダイナムコエンターテインメントのアムusement機器事業部門は 2018 年 4 月 1 日より株式会社バンダイナムコアムusementとしてスタートしました。

◆園内の 12 アトラクションが無料で遊び放題！

子供から大人まで楽しめる『ナジャヴの爆釣りスピリッツ』や『もののけハンターズ』など、12 アトラクションが無料で遊び放題になります。

《無料で遊べるアトラクション》

- ◆次世代乗り物体験
インモーションエクスペリエンス
- ◆妖怪ウォッチアトラクション 鬼時間脱出大作戦
- ◆ナジャヴの爆釣りスピリッツ
- ◆もののけハンターズ
- ◆幸せの青い鳥
- ◆魔法体験！マジカル学園
- ◆爆裂！蚊取り大作戦
- ◆銭湯クイズどんぶらQ
- ◆もののけ探険隊
- ◆ゾンビレイカー
- ◆未来遊戯ガンガンナー
- ◆シークレット・サーヴォイス



▲ナジャヴの爆釣りスピリッツ



▲もののけハンターズ

◆ ナンジャタウンのシンボルキャラクター、ナジャヴとモジャヴのバースデーパーティー開催！

7月6日が誕生日のナジャヴとモジャヴをお祝いして、バースデーソングやゲーム大会が楽しめるバースデーパーティーを開催します。パーティーの間にはサプライズもあるかも…？



《プロフィール》

名前：ナジャヴ
誕生日：7月6日
性別：一万匹に一匹しか生まれないオスの三毛猫（出会ったときになる）
特技：川柳を詠むこと
好きな色：元気になる黄色
好きな食べ物：カレーライス・餃子・ソフトクリーム



《プロフィール》

名前：モジャヴ
誕生日：7月6日
性別：オスの猫
職業：かつて、「遊びの暴君」であった。現在は「モジャモジャ団」を率いる団長として、日々イタズラをもくろみ中。

◆ ショーコンテンツが感謝祭 ver.にパワーアップ！

「開運！三三七拍子」や「おえかきファッションショー」、「玉パレ」などナンジャタウンでおなじみのショーコンテンツが当日限りの感謝祭 ver.でお楽しみいただけます。さらに、感謝祭の最後には「開運！三三七拍子」のテーマ曲を歌う SAK.さんが登場し、生歌に合わせてショーを開催します。

『開運！三三七拍子』とは…

オリジナル曲「ナンジャラー！ナンジャラー！～キミとなかよくするための魔法～」にあわせたサイリウムダンスで騒いだ締めは、ナジャヴたちが奏でる「三三七拍子」の太鼓の音に合わせて運を呼び込みます。楽しく素敵な一日をかざるナンジャタウンのオープニングショーです。



SAK.（歌手・作詞家）

10代前半にホイットニー・ヒューストンへの憧れから歌に目覚め、16歳からゴスペルクワイアに所属、慶応大在学中はR&B・ソウルを中心に多様な音楽経験を積む。卒業後より SAK. としての活動を始動。

2011年以降はゲーム関連作品に歌唱・作詞で積極的に関わる。クラブミュージックを軸にパワフルな歌唱力とステージパフォーマンス、ならびに英語・日本語の作詞能力を活かし、現在の活動の中心となっている。